

事業所名

きずかな・こどもの発達支援教室

支援プログラム（参考様式）

作成日

令和7年

3月

1日

法人（事業所）理念		「遊び」と「療育」を基盤に、子どもたちの活動の幅を広げ、「強み」を活かす支援を行います。そして、自己選択や自己決定ができる力を育み、誰もが「うまく生きる力」を持って生きられる社会の実現を目指します。								
支援方針		1.「遊び」を通じたコグトレ(認知トレーニング)の実践遊びを取り入れたコグトレを通じて、社会性やコミュニケーション力を育み、子どもたちの活動の幅を広げます。 2.個性と「強み」を活かす支援コグトレを活用して、一人ひとりの個性や得意分野を引き出し、自信を持てる環境を提供します。 3.自己選択・自己決定の力の育成日常生活での選択肢提示やコグトレを通じて、将来に向けた意思決定力を養います。								
営業時間		10時	0分から	19時	0分まで	送迎実施の有無	あり	なし		
支援内容										
本人支援	健康・生活	手先を使った日常的な動作（食事、着替え、歯磨き）を通じて巧緻性を向上させます。 身の回りのケア（衣類の感覚や水の温度など）を快適に行えるよう調整。 健康管理の一環として、感覚の過敏さ鈍感さに配慮して生活習慣を形成。								
	運動・感覚	身体面のコグトレを組み合わせ前庭感覚、固有感覚受容感覚を活かし、体を動かす遊び（ジャンプ、回転）を通じて、身体的な感覚と認知を統合します。 感覚遊び（砂遊び・水遊び、粘土など）通じて触覚や視覚、聴覚の統合を支援。 バランスボールやトランポリンなどの運動器具を使用し、（前庭感覚、固有受容感覚、空間認識）体幹、リズム感覚を発達させる活動を実施。								
	認知・行動	視覚や聴覚、認知機能の向上を持った学習面のコグトレ活用し記憶力、注意力、言語理解力、知覚、想像力を育成。 小さな成功体験を積み重ねることで自己の行動をコントロール力を養う。 体を動かしながら認知課題（動きながらの指示理解や問題解決）を行います。認知能力と身体感覚の統合を促進し、自己コントロール力を高めます。								
	言語 コミュニケーション	自分の意見や感情を伝える力を引き出す為、安心して話せる環境を整え、感情カードや社会面のコグトレを活用し表現の機会を増やし小さな成功体験を積み重ね表現力を伸ばします。 身体活動や自然体験を通じて非現実的・言語理解や自己調整力を育み、共同作業で社会性や対人スキルを高め、遊びを通じて楽しくコミュニケーション能力を伸ばします。 コミュニケーション活動に工作、調理を取り入れグループでの順番や役割を理解して行動できるように支援します。								
	人間関係 社会性	社会面のコグトレと感覚の統合を組み合わせ対人スキル、他者との協調活動を促進。 グループ活動や共同制作を通じて前庭感覚や固有受容感覚を活用することで、他者との協力に必要な認知能力や体の使い方を支援。 屋外活動にて社会的な場所、公共の場面（聴覚・視覚、前庭感覚、嗅覚の感覚を入力）になれる体験を支援。								
家族支援		1. 延長利用の提供 仕事や家庭の都合に応じた柔軟な延長利用を可能にし、家族の生活をサポート。 2. レスパイトケア（リフレッシュの支援） 子どもが安心して過ごせる環境を提供し、家族が休息やリフレッシュできる時間を確保。 3. 相談支援の充実 専門スタッフによる個別相談を実施し、子どもの発達や行動に関する悩みに寄り添う。 家族同士が交流し情報交換できる場を提供し、孤立感の軽減を図る。			移行支援		1. 地域の小学校への移行支援 準備：小学校の見学や情報提供、個別支援計画を作成し、学校との連携を強化。実施：社会性やコミュニケーションスキルを向上させ、新しい環境に適応できるよう支援 2. 学童保育への移行支援 準備：学童保育の環境を理解し、事前の見学や情報提供を実施。 実施：集団活動やルール理解をサポートし、安心して通えるように見守り支援。 3. 就労支援 準備：就労前のスキル訓練や仕事体験を提供し、職場の理解を深める。 実施：就労時のマナーやコミュニケーション、タスク管理の支援を行い、仕事に必要なスキルを習得。			
地域支援・地域連携		・地域に開かれた施設の利用（グリーンモービー丸亀、水族館、図書、プール） ・児童養護施設のイベントへの参加、高齢者施設との合同研修、敬老会への参加。			職員の質の向上		1. 継続的な研修と学びの機会の提供2. チームでの情報共有と連携強化 3. 働きやすい環境の整備4. 自己啓発の支援5. 健康とメンタルケア 6. 働きに応じた評価制度の構築7. コグトレ学会参加、資格取得を促進			
主な行事等		主なイベント：2月：保護者会 6月・12月：懇談会（保護者と本人）8月：夏休みの宿題お手伝い 毎月4～5回のイベント開催 例：ドッジボール：逃走中：調理体験：水泳：工作：買い物体験：登山：農業体験：音楽会：防災訓練：アスレチックなど。								